

デイケアプログラム

注)年度によって、多少内容を変更することがございます。

【デイケア全体の目標】

- ・「やってみよう」をキャッチフレーズに様々な活動に自主的に挑戦することを通して、社会生活力を向上させ、早期の社会参加を実現する
- ・メンバー同士やスタッフとの交流によって、安心・安全を実感しながら自分も他者も尊重し、つながりを認められるようになる
- ・各プログラムの特徴を生かした自己理解を深める

	月	火	水	木	金
AM	<p>○ 作って見つけよう <内容> 個人ごとの物づくり活動(手工芸等) <目的> ・自分の作業能力を知り、スタッフとともに試行錯誤することによって、自己理解と他者との協調性を向上させる ・物作りの作業を通して創作の楽しみを知る</p>	<p>○ 君なら書ける <内容>(外部講師) 個人ごとの書道による表現活動 <目的> ・講師のテーマ設定の中で創作することによって、他者(社会)の枠組のなかで活動することを学ぶ ・活動の中で自ら課題を発見し、助言を求め、助言を得ることで、他者との関わりによる向上を体験する ・芸術活動の中で自己表現する</p> <p>○ 表現する色遊び <内容> 絵画による表現活動 (調整中)</p>	<p>○ デイケア運営会議 (スタッフのみ)</p>	<p>○ 就労準備プログラム <内容> 就労に関する話題提供と意見交換 <目的> ・就労に進むために必要な自己理解を深め、将来の自己イメージを具体化する ・就労という次のステップに進む勇氣を持つ</p> <p>※月2回ハローワーク職員参加</p>	<p>○ 社会生活力プログラム <内容> ・健康的な生活を送るための話題提供と意見交換 ・メンバー同士の悩み相談によるピアサポート <目的> ・自分自身の状態に目を向け日々の過ごし方を意識する ・気分や体調にかかわる様々なテーマについて考えを深め、健康を維持する ・悩みを共有し相談して解決するという体験を得る</p>
PM	<p>○ ミュージックセラピー <内容>(外部講師) ・リラクゼーション ・音楽療法 <目的> ・活動を通して身体に意識を向ける ・歌や楽器、身体を介して非言語的なコミュニケーションを学ぶ ・さまざまなテーマについて音楽を通して自己表現する</p>	<p>○ サロン <内容>自主活動(ヨガ、ゲーム、将棋などさまざま) <目的> ・生活の中の自由時間を充実させるオプションを増やす ・自分が好きなことを提案し、ほかのメンバーと共有する楽しみを知る ・新しいことにチャレンジする</p> <p>○ SOSU庵(若者向け) <内容>様々な活動(別紙) <目的> ・不安やストレスを対処する力を養う(ゆっくり、発散、つながり) ・自分の感情を適切に表現する ・自分らしさを受け入れられる体験</p>	<p>○ てきおん <内容> 発達障害を対象にコミュニケーションについて、SSTに類した方法で学ぶ、専門プログラム <目的> ・場面に応じたコミュニケーションスキルを学び、生活のしづらさを改善する ・障害特性を知り自己理解を深める ・二次障害的な障害や症状の安定をはかり再発を防止する</p>	<p>○ Joy Spo <内容> 集団でのスポーツ活動 <目的> ・体を動かすことで爽快感を味わうとともに、自己身体イメージを確立する ・スポーツのルールに従い集団でプレイすることや、準備や後片付けの中での声掛けによって、社会性や協調性を身に着ける ・自分の感情を適切に表現する ・適切な休憩を取ることで、自己身体の管理能力を身に着ける</p>	<p>○ 企画・運営 <内容> デイケアでのイベント(遠足、調理、卒業イベント等)の企画・運営 <目的> ・計画・立案・実行を経験することによって、物事の組み立て方や見通しのつけ方、進捗の実際を学ぶ ・議論を重ねることで、集団の中の意見の述べ方、聞き方、意見のまとめ方を学ぶ ・各自の能力と特性に応じた参加によって、それぞれがグループ全体に貢献可能であることを体験する</p>

- ★ 担当職員との一対一での個別の振り返りは3か月に1回実施し、「デイ・ケア診療計画書・同意書」は6ヶ月に1回見直す
- ★ 参加メンバー全体でのプログラムの振り返りを3ヶ月に1回実施する。

★ 網掛け太枠のプログラムは、発達障害の診断・告知されている方向けの専門プログラムです。